

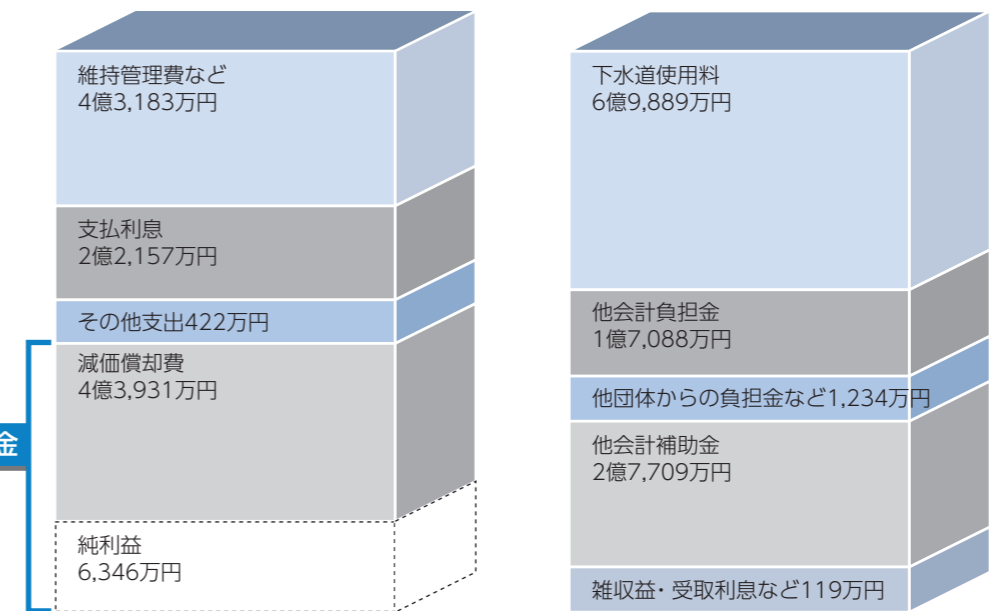
下水道事業 決算

平成25年度下水道事業会計の決算の状況をお知らせします。下水道事業会計では、公共下水道事業と農業集落排水事業の二つの事業を実施しています。

下水道課 業務係 ☎(232)2164

収益的収支 [連結] 下水道を維持管理するための経費とその財源(税抜き)

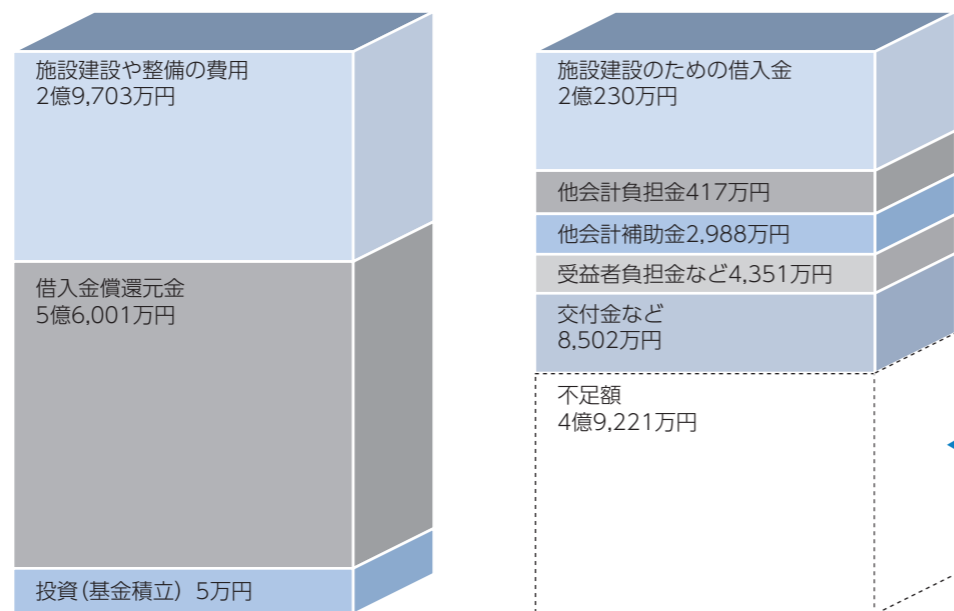
支出 10億9,693万円 収入 11億6,039万円



※公共下水道事業は6,714万円(税抜き)の純利益になり、農業集落排水事業は368万円(税抜き)の純損失になりました。連結では6,346万円(税抜き)の純利益です。

資本的収支 [連結] 下水道施設を整備・拡充するための経費とその財源(税込み)

支出 8億5,709万円 収入 3億6,488万円



※不足額は、損益勘定留保資金などで補いました。

留保資金

経営の健全化を図るため、平成24年度から地方公営企業法の財務規定を適用しています。民間企業の会計方式と似ています。



業務の状況(平成25年度末)

項目	公共下水道事業	農業集落排水事業
水洗化人口	36,793人	705人
水洗化世帯数	14,529世帯	241世帯
水洗化率	95.6%	91.7%
年間有収水量	6,389,953m ³	72,270m ³
使用料回収率	82.3%	17.5%
一般家庭使用料(全国平均)	1,930円(2,640円)	1,930円(3,085円)

■農業集落排水事業
368万円の純損失になりました。使用料だけでは全ての経費を賄えないため、一般会計から6,128万円の繰り入れを行っています。

■公共下水道事業
6,714万円の純利益になりました。使用料だけでは全ての経費を賄えないため、一般会計から負担金と補助金を合わせて4億2,074万円の繰り入れを行っています。

■農業集落排水事業
・曲手地区などで合計2件の汚水管整備工事を行いました。

事業の概要

- 公共下水道事業
 - ・汚水管の整備では土地区画整理事業地区や辛川地区など計29件の工事を行いました。
 - ・雨水対策では土地区画整理事業地区など3件の工事を行いました。
 - ・老朽管対策では武蔵ヶ丘地区での汚水管更生工事や町内全域でのマンホール更新工事など9件を行いました。

用語説明

- 収益的収支
他会計負担金 一般会計が負担する雨水処理に必要な経費
- 他会計補助金 営業助成のための一般会計からの補助金
- 受取利息 預貯金(基金)の運用から生じる利息
- 維持管理費 汚水管・雨水管やマンホールポンプなどの補修、清掃など維持管理に必要な経費
- 支払利息 下水道施設建設の際に借りた借入金の利子

- 資本的収支
他会計負担金 一般会計が負担する雨水対策事業費
- 他会計補助金 汚水対策の整備事業に対する一般会計からの補助金
- 受益者負担金 都市計画法に基づき、下水道を整備することで利益を受ける人に建設費の一部を負担してもらうもの
- 交付金 施設の建設や整備のための国土交通省の補助金
- その他
集落内開発制度 農地や自然環境を守る区域として開発や建築が制限されている区域(市街化調整区域)内で一定の要件を満たす場合に、住宅や日用品等販売店舗の建築が許可される制度
- 日用品等販売店舗 店舗面積500平方メートル以下の店舗。飲食料品を扱う小売店やコンビニエンスストアなど
- 損益勘定留保資金 収益的支出のうち減価償却費などは現金支出を伴わないため、その資金は、資本的収支で不足する額の補てんに使う
- 水洗化率 下水道を利用することができる人口のうち、実際に下水道への接続工事を行い利用している人口の割合で、整備された下水道の利用状況を示す
- 年間有収水量 下水道使用料の徴収対象となった水量
- 使用料回収率 汚水処理に必要な費用を使用料で回収できている割合
- 一般家庭使用料 ひと月に20立方メートル使った場合の下水道使用料



▲雨から町を守る雨水排水管設置工事の様子